

# 東京海上・グローバルペット関連株式ファンド (為替ヘッジあり) <愛称 ぽちたま>

追加型投信/内外/株式

## 交付運用報告書

第24期(決算日2023年7月12日) 第25期(決算日2023年10月12日)

作成対象期間(2023年4月13日~2023年10月12日)

第25期末(2023年10月12日)	
基準価額	6,903円
純資産総額	423百万円
第24期~第25期	
騰落率	△11.1%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しています。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めています。運用報告書(全体版)は、東京海上アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
右記の<照会先>ホームページにアクセス  
⇒「基準価額一覧」等から対象ファンドを選択  
⇒「運用報告書」ボタンを選択  
⇒「運用報告書」ページから閲覧・ダウンロード

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「東京海上・グローバルペット関連株式ファンド(為替ヘッジあり)<愛称 ぽちたま>」は、このたび、第25期の決算を行いました。

当ファンドは、日本を含む世界の株式の中から、ペット関連事業の売上があり、今後のペット関連市場の成長を享受すると判断する企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長をめざして運用を行います。また、原則として、為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ります。当作成期についても、この方針に基づき運用を行いました。

ここに、当作成期の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### <照会先>

- ホームページ

<https://www.tokiomarineam.co.jp/>

- サービスデスク

0120-712-016 受付時間：営業日の9時~17時

### 東京海上アセットマネジメント

東京都千代田区丸の内1-8-2 鉄鋼ビルディング

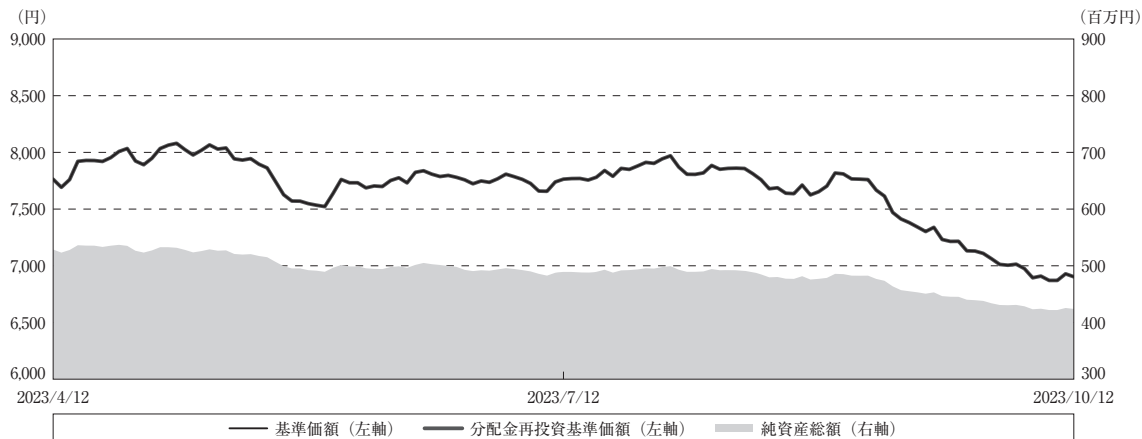
## 【本資料の表記について】

原則、各表・グラフの金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で表記していますので、個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。

## 運用経過

## 作成期間中の基準価額等の推移

(2023年4月13日～2023年10月12日)



第24期首： 7,763円

第25期末： 6,903円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 11.1% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2023年4月12日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

## ○基準価額の主な変動要因

## プラス要因

- ・良好な経済指標や企業決算の発表から、景気後退への懸念が和らいだこと
- ・FRB(米連邦準備制度理事会)による利上げ打ち止め期待が高まったこと

## マイナス要因

- ・FOMC(米連邦公開市場委員会)後の声明文を受け、米国の高い金利水準が長期化するとの懸念が高まったこと
- ・為替ヘッジなどのコスト

## 1万口当たりの費用明細

（2023年4月13日～2023年10月12日）

項 目	第24期～第25期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	65	0.841	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率
（投信会社）	(32)	(0.412)	* 委託した資金の運用、基準価額の計算、目論見書作成等の対価
（販売会社）	(32)	(0.412)	* 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	( 1)	(0.016)	* 運用財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.046	(b) 売買委託手数料 = 作成期間の売買委託手数料 ÷ 作成期間の平均受益権口数
（株 式）	( 4)	(0.046)	* 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税 = 作成期間の有価証券取引税 ÷ 作成期間の平均受益権口数
（株 式）	( 0)	(0.001)	* 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	1	0.018	(d) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益権口数
（保管費用）	( 1)	(0.012)	* 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	( 0)	(0.006)	* 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	( 0)	(0.001)	* その他は、信託事務等に要する諸費用
合 計	70	0.906	
作成期間の平均基準価額は、7,667円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

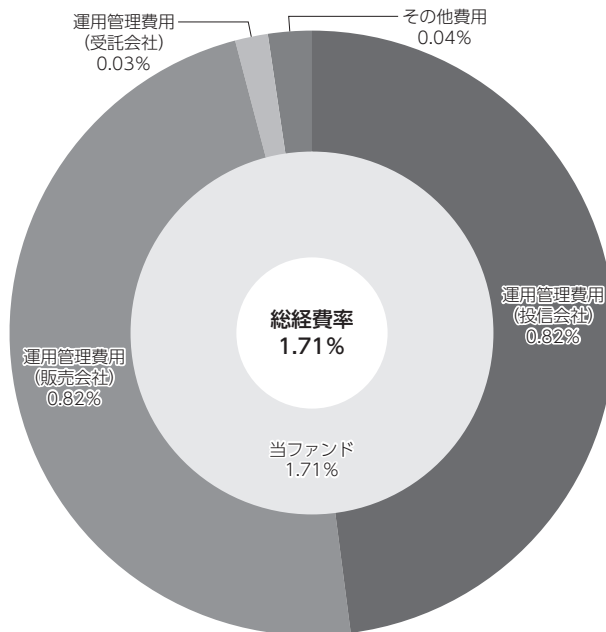
(注) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

**(参考情報)****○総経費率**

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.71%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

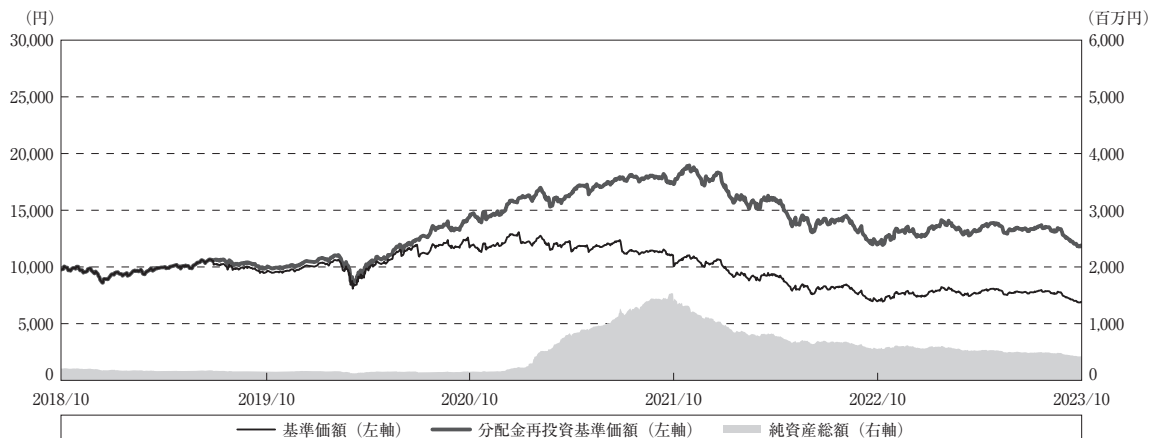
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2018年10月13日～2023年10月12日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2018年10月12日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2018年10月12日 決算日	2019年10月15日 決算日	2020年10月12日 決算日	2021年10月12日 決算日	2022年10月12日 決算日	2023年10月12日 決算日
基準価額 (円)	9,765	9,558	11,711	10,064	6,998	6,903
期間分配金合計 (税込み) (円)	-	400	2,000	3,900	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	1.7	45.1	20.0	△ 30.5	△ 1.4
純資産総額 (百万円)	207	153	148	1,394	556	423

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

当ファンドにベンチマークはなく、また当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数もないため、ベンチマーク、参考指数を記載していません。

**投資環境**

（2023年4月13日～2023年10月12日）

当作成期の株式市場は上昇しました。

作成期初は、米国でCPI（消費者物価指数）の伸び率が鈍化傾向にありFRBによる利上げ打ち止め期待が高まったことや、米国の債務上限問題について暫定的な合意に達したことで債務不履行への懸念が和らぎ、株式市場はおおむね横ばいで推移しました。

作成期央は、米国で2023年7月のニューヨーク連銀製造業景気指数が事前予想を上回ったことや、2023年4-6月期の企業決算が事前予想をおおむね上回ったことで、景気後退への懸念が和らぎ、株式市場は上昇しました。

作成期末は、9月のFOMC後の声明文を受け、米国では2024年以降も相対的に高い金利水準が長期化するとの懸念が高まり、株式市場は下落しました。

**ポートフォリオについて**

（2023年4月13日～2023年10月12日）

**<東京海上・グローバルペット関連株式ファンド（為替ヘッジあり）>**

「東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド」を主要投資対象とし、高位の組入比率を維持しました。また、マザーファンドの通貨ウェイトに応じて対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

以上の運用の結果、当ファンドの基準価額は、11.1%下落しました。

**<東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド>**

「ペットの家族化」「ペット関連消費の高級化」「新興国におけるペット需要拡大」を背景としたペット関連市場拡大の恩恵を受け、長期的に利益成長が期待できると考える銘柄を組み入れました。

セクター別では、ヘルスケア、生活必需品、一般消費財・サービスセクターの銘柄を中心に保有しました。また、ペット保険会社など金融セクターの銘柄の保有も継続しました。当作成期の投資行動としては、ヘルスケアセクターでは、米国の大手ペット関連企業からの買収提案を受けて株価が上昇した同国のペット用ヘルスケア製品メーカーを売却しました。生活必需品セクターでは、ペット用品を製造する米国の日用品メーカーを新規に購入しました。一般消費財・サービスセクターでは、カナダのペット用品小売り会社を新規に購入しました。

当作成期は、欧州の投資会社から買収提案を受け株価が上昇した英国の動物用医薬品メーカーの保有などがプラス要因となったものの、利益率の悪化が懸念された米国のペット用品小売り会社や規制面での不透明感が高まった英国の動物病院運営会社の保有などがマイナス要因となりました。

当作成期の基準価額は、保有銘柄は下落したものの、円安の進行などから1.0%上昇しました。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

（2023年4月13日～2023年10月12日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けていません。

また、当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる参考指数もないため、記載する事項はありません。

**分配金**

（2023年4月13日～2023年10月12日）

当作成期においては、基準価額の水準などを勘案して、収益分配を行わないこととしました。収益分配に充てなかった収益については信託財産内に留保し、当ファンドの運用方針に基づいて運用を行います。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第24期	第25期
	2023年4月13日～ 2023年7月12日	2023年7月13日～ 2023年10月12日
当期分配金 (対基準価額比率)	－ －%	－ －%
当期の収益	－	－
当期の収益以外	－	－
翌期繰越分配対象額	440	440

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### <東京海上・グローバルペット関連株式ファンド（為替ヘッジあり）>

「東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド」を主要投資対象とし、高位の組入比率を維持します。また、マザーファンドの通貨ウェイトに応じて対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

### <東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド>

今後の株式市場は、インフレ率が徐々に低下して、過度な利上げに対する不透明感の後退がプラス要因となることが見込まれるものの、景気後退懸念が残るなか業績見通しに対する警戒感の高まりがマイナス要因となり、当面の間はボラティリティ（変動性）の高い展開を予想しています。しかし、2024年にかけて景気は緩やかに回復し、企業業績も増益基調を維持すると考えており、加えてインフレ率が低下基調となることで、FRBによる利下げ期待が徐々に高まり、株式市場は上昇していく展開を予想しています。

ペット関連市場については、「ペットの家族化」「ペット関連消費の高級化」「新興国におけるペット需要拡大」に加え、「在宅勤務の拡大」などの新たな生活様式の変化を背景に引き続き成長していくと考えています。

以上のような見通しのもと、引き続き、ペット関連市場拡大の恩恵を受け、長期的に利益成長が期待できると考える銘柄を中心に組み入れを行う方針です。

## お知らせ

NISA「成長投資枠」の対象商品になるための要件として、「2024年1月時点で信託期間が20年を超えていること」および「ヘッジ目的の場合等を除き、デリバティブ取引による運用を行っていないこと」が定められており、当該要件を満たすため、当ファンドおよび当ファンドが投資対象とするマザーファンドにおいて所要の約款変更を2023年7月13日付で行いました。

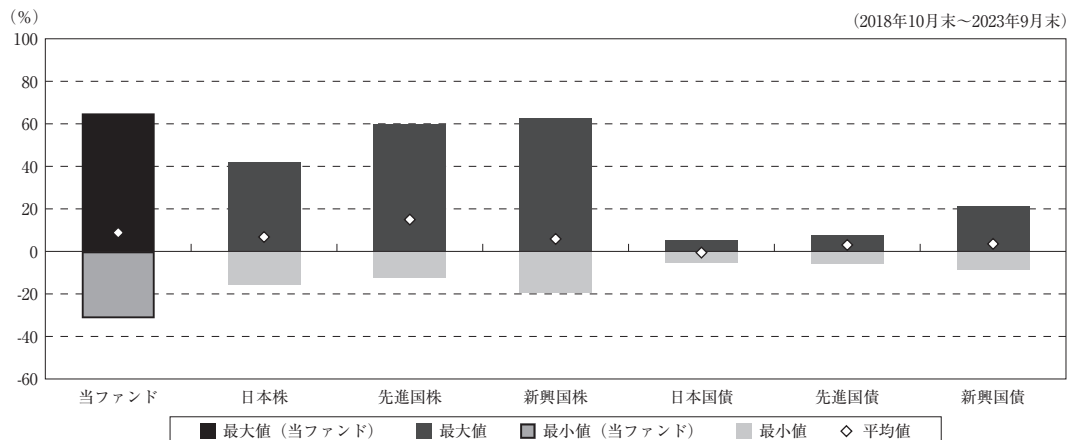
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式（課税上は株式投資信託として取扱われます。）	
信託期間	2017年6月30日から2044年10月12日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。原則として、為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ります。	
主要投資対象	東京海上・グローバルペット関連株式ファンド（為替ヘッジあり）	「東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド」を主要投資対象とします。
	東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド	日本を含む世界のペット関連企業の株式（これに準ずるものを含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	日本を含む世界の株式の中から、ペット関連事業の売上があり、今後のペット関連市場の成長を享受すると判断する企業の株式を主要投資対象とする「東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド」に投資し、高位の組入比率を維持します。なお、実質組入外貨建資産については、原則として、当ファンドにおいて為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ります。	
分配方針	毎決算時に、原則として、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配を行う方針です。ただし、分配対象額が少額の場合等には、収益分配を行わないことがあります。 収益の分配に充当せず、信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。	



## （参考情報）

### ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	64.9	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△ 31.5	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	8.8	6.8	15.0	5.9	△ 0.6	3.0	3.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年10月から2023年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものであり、騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

### 《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ指数（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA - BPI（国債）

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2023年10月12日現在)

## ○組入上位ファンド

銘柄名	第25期末
東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド	100.8%
組入銘柄数	1銘柄

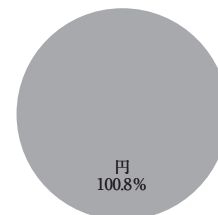
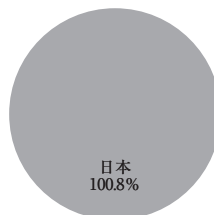
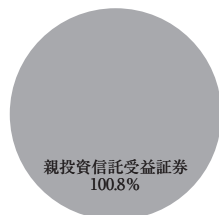
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

## ○資産別配分

## ○国別配分

## ○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しています。

## 純資産等

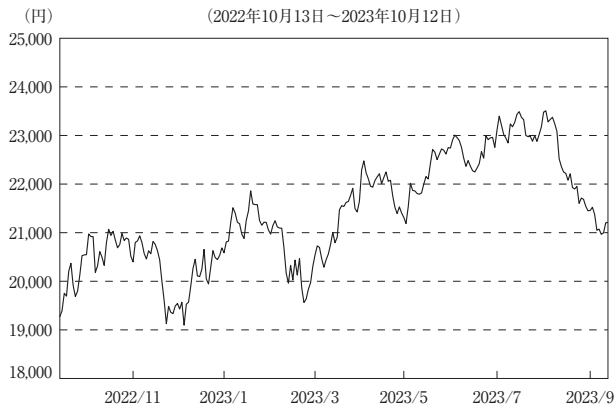
項目	第24期末	第25期末
	2023年7月12日	2023年10月12日
純資産総額	488,911,618円	423,902,910円
受益権総口数	629,724,598口	614,041,666口
1万口当たり基準価額	7,764円	6,903円

\* 当作成期間（第24期～第25期）中における追加設定元本額は15,581,467円、同解約元本額は82,522,169円です。

## 組入上位ファンドの概要

## 東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド

## 【基準価額の推移】



## 【1万口当たりの費用明細】

(2022年10月13日～2023年10月12日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	17 (17)	0.079 (0.079)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	1 (1)	0.003 (0.003)
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	5 (5) (0)	0.021 (0.021) (0.000)
合 計	23	0.103

期中の平均基準価額は、21,435円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。  
 (注) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## 【組入上位10銘柄】

(2023年10月12日現在)

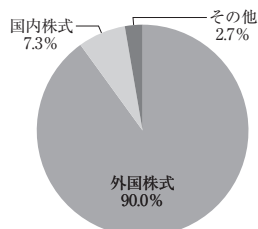
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 ZOETIS INC	医薬品/バイオテクノロジー/ライフサイエンス	米ドル	アメリカ	8.1%
2 IDEXX LABORATORIES INC	ヘルスケア機器・サービス	米ドル	アメリカ	8.0%
3 MUSTI GROUP OYJ	一般消費財・サービス流通・小売り	ユーロ	フィンランド	5.5%
4 NESTLE SA-REGISTERED	食品・飲料・タバコ	スイスフラン	スイス	5.3%
5 ユニ・チャーム	化学	円	日本	4.4%
6 PETS AT HOME GROUP PLC	一般消費財・サービス流通・小売り	英ポンド	イギリス	4.0%
7 COLGATE-PALMOLIVE CO	家庭用品・パーソナル用品	米ドル	アメリカ	4.0%
8 TRACTOR SUPPLY COMPANY	一般消費財・サービス流通・小売り	米ドル	アメリカ	3.8%
9 FRESHPET INC	食品・飲料・タバコ	米ドル	アメリカ	3.3%
10 CENCORA INC	ヘルスケア機器・サービス	米ドル	アメリカ	3.2%
組入銘柄数			32銘柄	

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

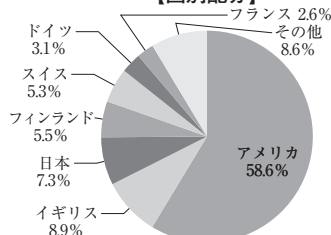
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

(注) 国(地域)につきましては発行国を表示しています。

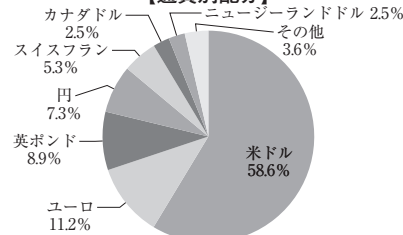
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しています。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

## ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

### ○TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

TOPIXの指数値およびTOPIXにかかる標章または商標は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社（以下、J P X）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用等TOPIXに関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXにかかる標章または商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。

J P Xは、TOPIXの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。ファンドは、J P Xにより提供、保証または販売されるものではなく、ファンドの設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJ P Xは責任を負いません。

### ○MSCIコクサイ指数（配当込み、円ベース）

MSCIコクサイ指数の著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI社に帰属します。また、MSCI社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI社の許諾なしにインデックスの一部または全部を複製、頒布、使用等することは禁じられています。MSCI社はファンドとは関係なく、ファンドから生じるいかなる責任も負いません。

### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックスの著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI社に帰属します。また、MSCI社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI社の許諾なしにインデックスの一部または全部を複製、頒布、使用等することは禁じられています。MSCI社はファンドとは関係なく、ファンドから生じるいかなる責任も負いません。

### ○NOMURA – BPI（国債）

NOMURA – BPI（国債）に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

### ○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックスは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

東京海上アセットマネジメント  
YouTube公式チャンネル

ファンド・マーケット関連動画などを公開しています。

